



豪雨被害に負けない地域を！ 前に進む人たちを応援する

「47 コロナ基金・やまがた豪雨まめでろちゃ基金」への
寄付をお願いします。

7月豪雨により最上川が計4か所で氾濫しました。この大雨の浸水被害は、山形県内 26 市町村で被害を受けた広域多発の災害。農地被害も甚大です。

現在も、手が回らない地元企業からの SOS、衛生状態のかなり悪い汚泥（糞尿等）案件の発生、床下浸水でカビや臭いに悩まされている家など、高齢化、担い手不足などの問題も複雑に絡み合い長期化せざる負えない状況です。

地域の人たちの暮らしを支えるには、「公の力」だけではなく、民間の支援団体のきめ細やかな支援力、専門性を活かした機動力、地域をつなぐコーディネート力が必要です。

「47 コロナ基金・やまがた豪雨まめでろちゃ基金」は、「豪雨被害に負けない地域をつくろう」を合言葉に被災地で支援活動に取り組んでいる、市民活動・NPO・地域づくり活動などを支援するための基金です。※まめでろちゃ基金の名前の由来は、最上川舟歌にも唄われているフレーズ「まめでろちゃ」。「まめでろちゃ」は、「元気で」という意味です。地域が元気になってほしいという思いを込めて命名しました。

皆さんからの寄付は、被災地域で、支援活動を行う団体の活動等に使われます。
あなたの寄付が、被災した地域の住民の笑顔と安心のある生活を取り戻し、豊かで温かい、元気な山形県をつくれます！



よんなな・ころな・ききん
47 コロナ基金

主催：公益財団法人 地域創造基金さなぶり（仙台市）
企画・広報：一般社団法人 全国コミュニティ財団協会（岡山市）

山形県担当：特定非営利活動法人山形の公益活動を応援する会・アミル
山形市双葉町 2-4-38 双葉中央ビル3階 TEL:023-674-0606 FAX:023-674-0808



47 コロナ基金・やまがた豪雨まめでろちゃ基金 3 つの特徴

1. あなたにとって大切な地域に寄付を届けることができます

「47 コロナ基金・やまがた豪雨まめでろちゃ基金」ではお預かりした皆さんの寄付と支援への熱い想いを基に、全国各地のコミュニティ財団や NPO 支援団体などと連携して、その地域のニーズにあわせた取組みの支援を行います。被災した地域が、少しでも元気と笑顔を取り戻し、被災した地域、ふるさとのコミュニティが安心して暮らせ、持続可能な地域になっていくために、ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

山形県では、特定非営利活動法人山形の公益活動を応援する会・アミルが協力団体となり、基金設置管理団体の「(公財) 地域創造基金さなぶり」と連携して山形県内の取組みの窓口となります。



2. 寄附金控除対象です

個人の方が寄付した場合、確定申告により、所定の計算に基づいて所得税の 40%を限度として、所得税が還付されます。(法人の場合は損金算入となりますが顧問税理士にご確認ください。個人の場合は後日、発送される領収書を年末調整・確定申告の際に申告書類と合わせてご提出をお願いします)

3. 全国47都道府県を網羅したはじめての仕組み

全国各地のコミュニティ財団や NPO 支援組織・センター、地域づくりセンターなどと連携して、この危機的な状況を支えようと現場で踏ん張る NPO、企業、医療者等の支援を地域のニーズに応じて設計した取り組みです。各地の確かな団体へ寄付するために、お預かりした助成金は審査委員会などを経てとどけるため、各地の確かな団体へ寄付することが可能になります。「47 コロナ基金」で検索してください。

— 寄付は「47 コロナ基金」のホームページから行えます —

